



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ タブレット端末で学力テスト（英語）

17・18日に、1・2年生で学力調査を実施しました。

これは、同じテストで学力がどのくらい身に付いているかを客観的にみるために、諫早市全体で取り組んでいます。



英語科では、タブレット端末（クロムブック）を活用して、聞き取りテストを実施しました。英語は、「書く」だけでなく、「聞く」、そして「話す」ことが重要です。今年度は、全国学力調査が、理科においてタブレット端末での解答を実施しました。今後も、タブレット端末の活用が増えてくるはずです。

また、現在のタブレット端末（クロムブック）が古くなり、更新の時期を迎えています。現在の機器の使用は、今年度で終了し、新しいタブレット端末を利用することになります。

昨今の物価の高騰で、タブレット端末の価格も上昇し、同時に修理代も高騰しています。液晶画面の交換で4万円以上というケースが多いです。全損となるとさらに高額になることが予想されます。万一来て、各家庭で保険の準備・確認をお願いしま

す。現在加入されている各種保険の中には、身の回り品の修理対応ができるものもあります。また、PTAで紹介している総合保障も修理対応ができます。真城中でも、1年に数件、

破損・修理を行っていますが、見積り額の金額を見て、驚かされることも少なくありません。ご家庭で検討をお願いします。また、3年生は高等学校進学後、さらに高価な端末を使う場合もありますので、あわせてご確認をお願いします。



○ 柔道の授業を、ふれあい会館で行っています！



現在、体育の授業で「柔道」を行っています。真城中は、近隣に「ふれあい会館」という素晴らしい施設があり、夏はプール、冬は柔道と、年間を通して部活動や、保護者会などの会合を実施することができています。武道場は、市の中総体を開催してもよいくらいの立派な場所で、畳も驚くほどに整備されていて、受け身なども思い切ってとることができていました。写真のように、基本の寝技から、ちょっとした応用の技まで、体育の授業時間一杯、柔道を楽しんでいました。

また、隣接するプールを見ると、水は透明で澄んでいて、ふれあい会館周辺では、管理人の方が花壇の整備をされていました。多くの方が使いやすくなるために、いろいろな方が努力をされていることを、生徒たちにも知ってほしいと思います。施設面で、学校と連携して要望を出したいことなども、お話をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



○ 今日の給食（18日）



18日（木）の給食は大分県の郷土料理の日で、**トリニータ丼、だんご汁、オレンジ**、でした。トリニータ丼は、郷土料理である**とり・にら丼**を大分のサッカーチームの**トリニータ**とかけ合わせて、トリニータ丼というネーミングとしたそうです。下の写真のように、ご飯にのせて食べることを想定していたのですが、生徒たちの様子を見ると、ほとんどがセパレートで食べていました。ちょっと濃いめの味付けが美味しかったです。だんご汁もボリューム満点でした。



上の写真は、3年生の給食の準備の様子です。手際よく、配膳をする様子に感心しました！